

お薬手帳はあなたを守る《味方》です!!

安全推進者 薬剤師 荒畑 明子

安全管理部門では、安全な医療を提供するためのさまざまな活動を行っています。医療事故や医療事故になる恐れのある“ヒヤリ・ハット”事例の情報を収集し、原因や背景を分析して再発を防止したり、より重大な事故が発生しないよう対策するのも大切な活動の一つです。“ヒヤリ・ハット”にはお薬に関わる事例も少なからず見受けられます。お薬手帳にはあなたのお薬情報が正確に記録されているので、薬による事故のリスクを減らしてくれる役割があります。



「お薬手帳」とは？

お薬手帳は、患者さんが今まで使用したお薬の名前や量、そして過去に経験した副作用などを継続して記録するものです。医師をはじめ私達医療スタッフはこの内容を確認することで、安全で有効な薬物療法を行うことができます。情報が一目でわかるように、病院ごとにお薬手帳を分けるのではなく、一冊の手帳にお薬をもらった順に情報を追加していくことが大切です。

「お薬手帳」を活用すると何ができるの？

1 服用している薬との相互作用（飲み合わせ）をチェックできます

新しく処方されたお薬はもちろん市販のお薬やサプリメントを買うときにもお薬手帳を見せることで相互作用をチェックできます。

2 副作用を予防することができます

副作用を起こしたことがあるお薬をメモしておくことで、同じ副作用を繰り返さないように予防ができます。

3 安全に検査、治療を受けることができます

血液をサラサラにするお薬を飲んでいる場合は、出血を伴う検査や治療の前にそのお薬を一時的に中止したり、造影剤を使用する検査ではある種の糖尿病薬を休薬する場合があるので、安全に検査、治療を受けるための注意事項をお伝えすることができます。

4 お薬の重複を避けることができます

先発医薬品と後発医薬品など、成分は同じでも名前の異なるお薬や、複数の成分が含まれる「配合剤」といわれるお薬があるため、気付かずにお薬を重複して飲んでしまうことを避けることができます。

さらに、緊急時にも役立ちます！

他にも、外出先で思わぬケガをした時や災害発生時に、使っているお薬の情報を漏れなく医療機関へ伝えることができれば、迅速な治療につながります。病院へ行くとき以外にも、外出時にはお薬手帳を携帯することをおすすめします。

ぜひ、安心安全に治療を受けるために「お薬手帳」をお役立て下さい。